

氏名	太田雅博
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博乙第3185号
学位授与の日付	平成10年3月25日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	Developmental alterations of α -fetoprotein sugar chain in amniotic fluids analyzed by lectin affinity electrophoresis (レクチン親和電気泳動法による羊水中 α -フェトプロテインの発達変異解析)
論文審査委員	教授 産賀 敏彦 教授 辻 孝夫 教授 清野 佳紀

学位論文内容の要旨

従来より種々の方法を用いた羊水中AFPの糖鎖構造の解析が試みられてきたが、本研究では高感度のレクチン親和電気泳動抗体親和転写法により低AFPレベルの検体についても測定可能となり、妊娠6週～42週の流産時、羊水穿刺時、分娩時に得られた羊水14例及びヨークサック腫瘍患者血清1例について4種類のレクチンを用いAFP糖鎖の妊娠経過に伴う変化について検討した。妊娠6週、7週、11週以外については正常の妊娠経過、正常児分娩が確認されている。妊娠6～7週の妊娠初期羊水では既知のAFP-C1の割合の増加とAFP-L2の出現ないし割合の増加に加え、AFP-P3f, AFP-P4, AFP-P5, AFP-A1, AFP-A1sの割合の増加を認めた。これはヨークサック腫瘍患者血清中のAFPパターンとほぼ一致した。また妊娠週数が進むに従いAFP-C1, AFP-P4, AFP-P5の割合が減少し、AFP-L2, AFP-P3f, AFP-A1, AFP-A1sの消失を認めた。これらの検索により胎児の発育発達に伴う情報が得られる事を示した。

論文審査結果の要旨

本論文はヒト羊水中の α -フェトプロテインに関する研究であるが、妊娠6週から42週までの羊水を試料として、 α -フェトプロテインの糖鎖構造の違いによるバリエーションを高感度レクチン親和電気泳動法によって解析して、妊娠の進展に伴うバリエーションの濃度の経時的変化をあきらかにし、本解析法が胎児の発育に関する情報を得る方法として有用であることを示した価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格がある認める。